

製品名: リン酸化 Chk1 (Ser280) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe87433

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB |
| 反応性 | 人間 |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | リン酸化 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。 |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:1000-1:5000 |
| 分子量 | Calculated MW:54 kDa; Observed MW:54 kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---------------------------------------|
| 遺伝子名 | Phospho-Chk1 |
| 別名 | CHK1 |
| 遺伝子 ID | 1111 |
| SwissProt ID | O14757 |
| 免疫原 | ヒト Chk1 の Ser280 周囲の残基に対応する合成リン酸化ペプチド |

背景

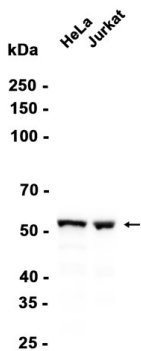
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリーに属します。DNA 損傷または未複製 DNA の

存在に対するチェックポイントを介した細胞周期停止に必須です。このタンパク質は、DNA 損傷応答に関与する2つの細胞周期タンパク質である ATM と ATR からのシグナルを統合する働きをします。ATM と ATR は、減数分裂前期 I においてクロマチンにも結合します。このタンパク質による CDC25A タンパク質ホスファターゼのリン酸化は、二本鎖 DNA 切断に対する細胞周期の進行を遅らせるために必要です。この遺伝子には、複数の選択的スプライシングを受けた転写バリエーションがみついています。[RefSeq 提供、2011年10月]

研究分野

-

画像データ



HeLa、Jurkat 細胞抽出物を Phospho-Chk1 (Ser280) ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でウエスタンブロット分析しました。